

## くらりか活動報告～大田区おもしろ理科教室に参画

くらりか副代表 大田区担当  
S39 年機械 安永隆志

### 1 くらりかの活動

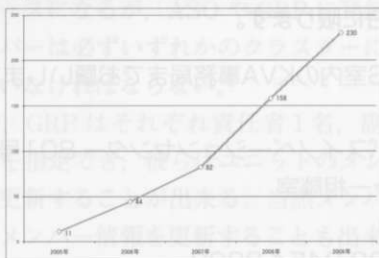
蔵前理科教室ふしぎ不思議（くらりか）は、（社）蔵前工業会の技術士会の公益事業として2005年にスタートし、児童館、地域のコミュニティハウス、小学校、中学校などで『寺子屋式出前理科教室』として児童や生徒達に理科の面白さ楽しさを味わって貰っています。現在のメンバーは63名ほどですが第一線の仕事をリタイヤした者が殆どです。身近な材料を使ってメンバーが手作りの教材を使って、楽しく工作や実験をしてもらいながら、背景にある理科の原理や法則が学べるようにすると共に、1人の講師と複数の助手により、限られた時間内

に参加者全員に達成感を味わって貰えるように工夫しています。このような活動を通じて、所謂“理科離れ問題”への貢献が出来る事を期待しています。“くらりか”の活動を支える3つの方針は以下の通りです。

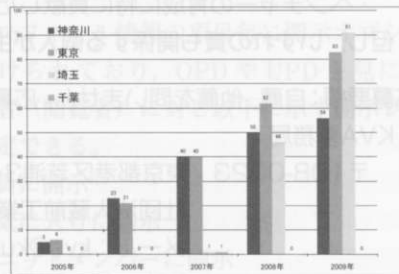
- ①身近な材料で子供たち全員が教材を作り、実験を行う。「簡単」
  - ②教材は持ち帰り家庭で子供が自分で再演できる。「安全」,「安心」
  - ③実験の科学的な原理を説明する。「わかりやすく」,「親しみやすく」,「楽しく」
- このような活動を実施するために、“くらりか”

くらりか・教室数推移

■ 2008年度は158教室、2009年度は230教室。

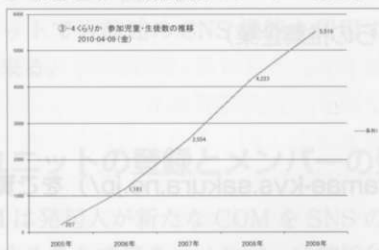


くらりか・教室開催場所の都県別分布

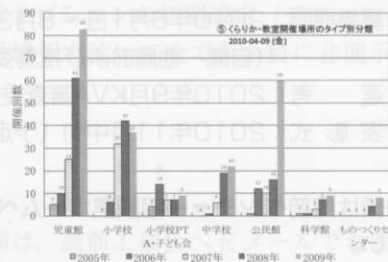


くらりか・教室への参加児童・生徒数推移

■ 2009年度は5,519名、累計では13,684名となった。



くらりか・教室開催場所のタイプ別分類



※ 小学校付設のわくわくプラザ等を児童館に分類 (2009年度)

では常に新しいテーマの開発を行っており、2009年度には現在22のテーマで理科教室を実施しました。また、2009年12月には大岡山の蔵前会館2階のアートメディアルームにおける

理科教育に関する展示に“くらりか”の教材を展示しました。

設立以来の活動実績は以下のグラフに示す通りです。

## 2 大田区おもしろ理科教室への参画

現在ではこの様に活動規模も大きくなっていますが、2007年の初めに活動領域を広めるべく、母校東京工業大学に当時の関口副学長、三木副学長、鈴木正明教授（教育推進室）を訪問して、東工大とくらりかの連携の可能性につき意見交換をさせて頂くなかで、鈴木教授のご紹介により、“理科離れ対策”に関して東工大と協調関係にある大田区教育委員会を訪問しました。丁度この時期に大田区では文部科学省の指針を受けて『大田区おもしろ理科教室』を計画中でした。文部科学省では、次世代の科学技術を担う人材を育成するための施策の一環として（独）科学技術振興機構（JST）を通じ、平成19年度（2007年度）から5ヵ年の計画で『理科支援員等配置事業』を実施しています。この事業は外部人材を理科支援員や特別講師として活用することにより、小学校5、6年生の理科の授業における観察・実験活動の充実を図るとともに、教員の資質向上を図ることにより、小学校の理科授業の充実を図ることを目的としています。

この方針を受けて各地方自治体では夫々の地域において事業活動を展開していますが、東京都大田区では、前述の通り『大田区おもしろ理科教室』という名称での実施が決まり、“くらりか”も初年度から参画する事になりました。『大田区の工場が日本の“ものづくり”の



下支えである』という自負から、大田区では区内の公立小学校の100%を対象としており、全国で最も積極的に取り組んでいます。対象となる教室は大田区立の小学校60校の5,6年生であり、295クラスです。同教室に『理科支援要員等』として参画している団体は個人、学校関係、企業等を含めて26団体、62グループです。企業は殆どが大田区の会社であり、東工大は3グループ、日本技術士会は13グループです。“くらりか”はこの3年間で5校、56教室の約2000名の生徒を対象として来ました。

テーマは、浮沈子、ボンボン蒸気船、備長炭電池、レモン電池であり、学校の理科の単元に沿う、或いは復習するという形で実施しました。長期に亘り生徒を指導する立場にある学校の先生とは異なり、『一期一会』の機会に生徒に接する『特別講師』としては、理科は楽しく面白いという印象を生徒に持ってもらうのが第一の役目と思われれます。寺子屋方式の出前理科教をうたい文句とする“くらりか”はきめ細かい実施方法で生徒の心を掴んでいると思います。

今後は2010年度、2011年度と2年間『大田区おもしろ理科教室』が継続しますが、“くらりか”としても更に改善努力をして対応して行きたいと思っています。

